

細木あけみ議会だより

第3号
発行
令和2年12月

細木明美事務所
〒690-0332
松江市鹿島町佐陀本郷624-3
TEL・FAX
0852-82-1180
E-mail
info@hosogi-akemi.jp
ホームページ
http://www.hosogi-akemi.jp

「コロナ禍」を生きる。

いつの間にか秋も深まり、気が付けば今年もあとひと月ほどになりました。もう今年が終わる。いつの間にか：私と同じようにそんな例年と違う感覚を感じている方も多いのではないのでしょうか。今年は何といっても「新型コロナウイルス感染症」。この世界中を襲った感染拡大の波によつて私たちの生活は一変しました。

そうした中、10月の最終日、毎週土曜日に島根町マリンゲートで開催されている朝市に久しぶりにお邪魔しました。もともと早く行けばいいのに、いつも私が行ったところには野菜も残りわずか。その日やと買えたのも少しの野菜とお赤飯。それだけこの開催がたくさんの人に喜ばれている証拠です。毎週お世話をされている皆さんに敬意と感謝の気持ちでいっぱいです。また、この日は地域おこし協力隊の女性二人が、長らく閉鎖していた2階を利用してカフェを開いていて、絶景を眺めて飲む珈琲は格別でした。外では若人たちによる勇ましい潜戸太鼓の演奏。歩いて観に来た保育園児のために、講演終了後にもかかわらず再度演奏されました。「どげしちよったかね」と久しぶりに会えた地元の方同士の笑顔と会話。皆さんとても嬉しそうでした。

た。感染防止をしながら、こうして地域の賑わいが少しずつどこにも戻ってくるといういなと感じた土曜のひと時でした。

まだ外出を自粛しているという方もたくさんいらっしゃると思います。みなさまの努力に心から感謝しあげます。そうした感染拡大を防ぎながら経済を回すことはとても難しいことだと感じています。

新庁舎建設問題について

この度の市民団体による住民投票条例案の提出や、そのための署名活動や報道等により、「いつたいうどうなっているんだ」と改めてこの新庁舎建設に対して興味を持たれた市民の皆さんも多かったことと思います。議会においては、提案された条例案の内容について、請求代表者の意



舞立参議院議員要望活動



青木参議院議員(当時国土交通省副大臣) 要望活動

は言え、サービスをする側と受ける側、お互いがしっかりと対策をしながら「松江のまち」を動かしていく必要もあります。自粛しながら改めて感じた、人と人とのつながりを大切にしながら、相手を思いやる心をもつて、この「コロナ禍」を皆で乗り越えていきましょう。

細木 明美

なぜそんなに建設を急ぐのか？

では、皆さんから特に質問が多い点についてお伝えします。また、このほかご意見やご質問があれば今後もお気軽にお寄せください。

現在の庁舎の本館含めほとんどが昭和37年に建設されたもので老朽化がひどく、大きな地震が起きると倒壊する恐れがありますので早急な建て替えが必要です。そして、その建て替えを国の支援(約34億円)を受けて行おうとしています。しかし、その支援を受けるには期限と条件があります。それが今年度中に実施設計に着手することです。そして、この支援制度は松政クラブが国へ延長要望を行い1年延長となったもので再延長はありません。もし着手でできなければその分負担が増えることとなります。

なぜ今の場所に建てるのか？

移転先の候補地として県立プール跡地やホテル六道湖跡地があげられていましたが、いずれも現在の計画より建設費用が上がるとの試算が市の担当部局(財政部新庁舎整備課)から出されております。これにはいろいろな要素がありますが、現在の計画では平成17年に建設し、原子力災害に備えて放射線防護対策を施した本館西棟は残しますが、移転の場合同じ面積と機能を持ったものの建設費用と現建物の解体撤去費用が必要になることや、建設時期が先になるほど建築資材や人件費が高騰することなどが考えられます。

また、その他の場所がいいという人もいます。橋北がいいという、橋南がいい、

所の決定にまたかなりの期間と再設計に費用がかかります。そして移転後の現庁舎跡地利用についても考える必要があり、松江市のまちづくり全体に関わってきます。この他にも様々な理由から現地での建て替えとなりました。

9月定例会において

9月2日に開会し、条例案件6件、単行案件9件、一般会計補正予算(11億400万円)等予算案件8件、令和元年度一般会計歳入歳出決算等決算案件14件、報告案件10件が提出されました。また、新型コロナウイルス感染症対策関係経費に係る補正予算第7号と、条例案「松江市新庁舎建設事業に係る住民投票条例の制定について」が追加提案され、2度の会期延長をし、10月9日閉会しました。

【条例案件(主なもの)】

- 松江市手数料徴収条例の一部改正について
通知カードが廃止されたため、当該通知カードの再交付手数料の規定を削除するもの。
- 松江市子ども医療費助成条例の一部改正について
子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることを目的とした公費助成対象を拡大するため、所要の改正を行うもの。これにより、中学生の入院費が疾患の制限なく対象となる。

【単行案件(主なもの)】

- 財産の取得について
市立の小中学校及び義務教育学校に学習用タブレット端末(1万346台)を配備するもの。

令和元年度一般会計決算

	令和元年度	平成30年度
歳入総額	1,018億3,792万円	990億9,892万円
歳出総額	1,003億3,796万円	976億1,241万円
実質収支	13億1,989万円	13億3,014万円

*実質収支は、歳入総額と歳出総額の差額から翌年度へ繰り越す財源を差し引いたもの

【予算案件(主なもの)】
 ●令和2年度松江市一般会計補正予算(第6号)
 総額11億3,999万円

*新型コロナウイルス感染症対策関係
 7億2,474万円
 ・市の単独事業(国の補正以外の事業)
 5億9,979万円

路線バス事業者に対する運行支援、観光回復キャンペーン事業費など。
 ・国の補正に係る事業
 1、300万円

妊産婦ウィルス検査等対象事業費
 ・その他
 指定管理料補填
 1億1,195万円

*その他の事業関係
 3億7,925万円
 商業活性化支援事業費補助金(チャレンジショップ事業)・中心市街地の空き店舗に出店する意欲ある商業者への支援)、スポーツコミッション設立検討事業費、ロタウイルス予防接種事業費など。

【決算案件(主なもの)】

令和元年

定例会一般質問の内容

今回は令和元年に行った一般質問の主な内容を紹介します。

【令和元年6月議会】

松江市の学校教育について

(質問) 平成22年度から取り組んでいる小中一貫教育。10年が経過し、現状と成果、導入当初から効果があるとされていた学力向上や不登校の減少はどうなっているか。見えてきた課題はあるか。

(回答) 市内全16学園で取り組んでおり、目指す児童生徒像を設定し、特色ある学園教育が推進されている。主な成果としては学習や生活面における中一ギャップの改善や小中教職員の共同指導体制の広がり、生徒指導面では情報共有が積極的に図られるようになった。その一方で、小中一貫教育を生かした学力向上の取り組みが不十分、教職員の意識の向上が課題である。また不登校問題など生徒指導上の課題の共有化についてもさらに一層深く進めて行く必要があると考えている。



(質問) 10年先の松江市をどのように考え、どんな子どもたちを育てていきたいと考えるか。教育長の「めざす子ども像」「教育ビジョン」を伺う。

(回答) 情報化、グローバル化といった

急激な社会的変化が起こっている。10年後には今ある職業も大きく変化し、まさに未来が予測困難な時代になると言われており、本市においても同様と考える。そのような社会の中で、未来を担う次世代「人材」である松江の子どもたち自らが切り拓く生きる力をも身につけていく。そしてこれからの未来のつくり手となることを目指して、教育の分野で必要な資質、能力を確実に育むことが必要と考える。私のめざす子ども像というか、育てたい子ども像は、①生きる力を育てる。②道徳性を養う。③ふるさとに愛着と誇りを持つ子どもたちを育てる。このように考えている。



【令和元年9月議会】

松江市立女子高等学校の魅力について

(質問) 「女子高魅力化事業の方針及び実施計画」が出された。全国で7校しかない公立の女子高。国内の女性管理職割合が10%程度の現状、国の成長戦略における女性の活躍促進の重要性等からも時代に即した女子教育を進める役割は大きいという考え方はまさに正しいものと思う。魅力化の基本的な考え方について。求められる人材とは。松江市だからその特色を加味して魅力化をさらに高めることはできないか。

(回答) 女性の活躍する時代、男女共同参画社会において地域に根差し活躍する女性リーダー人材の育成を目指して、さらなる魅力化を図っていききたいと考えている。本市は国宝松江城を中心に栄えた城下町であり、国際文化観光都市としてまちづくりを行ってきた。それにふさわしい内容も授業に盛り込んでいきたいと考えている。

女性が活躍できる松江市について

(質問) 「松江に住みたい。松江で働きたい。松江で子育てしたい。子育てしながら働きたい。」と思う女性が増えて欲しい。そのためには「女性に優しいまち。お母さんに優しいまち。」そう思えるような就労環境の向上と、まちづくりの取り組みが必要であると考えている。具体的に何か取り組みの考えはあるのか。

(回答) 現在、第二次総合戦略の策定をしており、二つの重点視点として、若者の人口流出を食い止める取り組み、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる取り組みを検討し、特に若い世代の方に「選ばれたまち 松江」を目指すという議論を行っているが、ご提案のとおり女性から選ばれるまちということも重要な視点であろうと考える。計画策定に当たり、100名程度の市民アンケートを実施し、現状の課題やニーズの把握に取り組み、解決できるような施策を第二次総合戦略に積極的に盛り込んでいきたいと考えている。

女性ももっと暮らしやすいまち」をめざして重点項目のひとつに掲げて、若者・女性の意見等を施策へ反映する仕組みづくりなどに取り組むこととされた。

12月定例会日程

- ◆12月2日(水) 本会議(会期の決定、提案説明)
- ◆12月7日(月) 本会議(一般質問)
- ◆12月8日(火) 本会議(一般質問)
- ◆12月9日(水) 本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)
- ◆12月10日(木) 総務委員会・予算委員会総務分科会
- ◆12月11日(金) 教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
- ◆12月14日(月) 経済委員会・予算委員会経済分科会
- ◆12月15日(火) 建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会
- ◆12月18日(金) 予算委員会(分科会長報告・質疑、討論、採決)
- ◆12月22日(火) 本会議(委員長報告・質疑、討論、採決)

編集後記

今年はコロナの影響で、皆さんと直接会ってお話をしたり、ご意見を伺うことがなかなか出来なかったことが大変残念で申し訳なく思っております。冬場はまだ感染拡大の恐れがあるとも言われますが、これ以上広がらないことを祈りながら、残された任期出来る限り一杯の活動をしたいので今後ともよろしくお願いたします。